発表題目

──副題──

English Title:

English Subtitle

○多文化　太郎（多文化大学）Taro Tabunka （JSMR University）

関係　次郎（関係研究所）Jiro Kankei （Institute for Kankei）

**はじめに**

はじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめに。Blechman （1990 濱・松山監訳 1998）は、あああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああとしている。

越智（2013）は、いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいと関連付けている。はじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめに。はじめにはじめにはじめにはじめにはじめに。

また、Ekman & Friesen（1978）は、ううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううと述べている。さらに、ええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええとしている（Ekman, Davidson & Friesen, 1990）。これに対し、小川・門地・菊谷・鈴木（2000）は、おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおとコメントしている。じめにはじめにはじめにはじめにはじめに。はじめにはじめにはじめにはじめにはじめに。

**方法**

**調査対象者（データ）**　調査対象者（データ）調査対象者（データ）。調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）。調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）。調査対象者（データ）調査対象者（データ）調査対象者（データ）。

**手続き**　手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き。手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き手続き。

Table 1

○○と××のクロス集計表（*N*=326）



 注）表頭項目は中央揃え、表側項目は左揃えとしてください。

**結果**

Table 1を見ると、結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果。結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結結果結果結果。結果結果結果結果結果結果結果結果果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果。結果結果結果結果結果結果結果結果果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果。



Figure 1. A difference between Boolean approach and a statistical method

結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果。結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果結果（Figure 1）。

**考察**

考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察。考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察。考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察。考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察。

考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察。考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察考察。

引用文献

Blechman, E. A. (1990). *Emotions and family: For better or for worse*. NewYork: Lawrence Erlbaum Associates.

（ブレックマン，E. A. 濱　治世・松山　義則（監訳）（1998）．家族の感情心理学──そのよいときも，わるいときも── 北大路書房）

Ekman, P., Davidson, R. J., & Friesen, W. V. (1990). The Duchenne smile: Emotional expression and brain physiology II. *Journal of Personality and Social Psychology*, *58*, 342-353.

Ekman, P., & Friesen, W. V. (1978). *Facial action coding system: A technique for the measurement of facial movement*. Palo Alto, CA: Consulting Psychologists Press.

越智 啓太（2013）．ケースで学ぶ犯罪心理学北大路書房

小川 時洋・門地 里絵・菊谷 麻美・鈴木 直人（2000）．一般感情尺度の作成心理学研究，*71*，241-246．